



令和5年度 校内研修主題
主体的・対話的で深い学びができる生徒の育成
～教科の「見方・考え方」を働かせた学びを目指して～

○主題設定の理由と研修の方向性(基本的な考え方)

「いせさき GIGAAL スクール構想」における Step2・3 に沿った、ICT活用指導力の平準化を図りつつ、「伊勢崎市学校教育構想 2023」の「確かな学力向上プラン」における考え表現する力づくりに関わることを中心に取り組む。昨年度の研修をきっかけに、「とりあえず使ってみる。」から、「生徒の深い学びの実現につなげる。」という視点で ICT を活用しようとする意識が高まった。また、多様な表現を用いることで、生徒の活躍の場が増えたり、主体的に自分の考えを表現したりできるようになってきた。その一方、共有したことから学びをより深めていくことが課題であった。今年度はタブレット端末等を用いて共有したことから、教科の「見方・考え方」を働かせて、生徒の深い学びを実現していくことに努めていきたい。

○研修の具体内容

1 学期

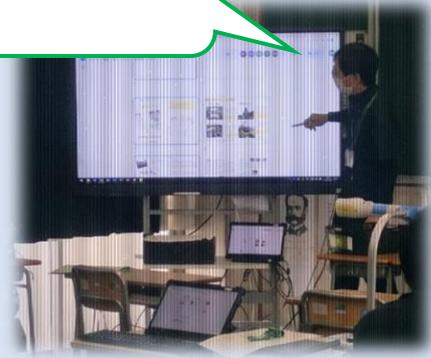
- 4月 年度当初共通理解
- 5月 タブレット研修Ⅰ (Google スライド関係)
- 6月 年度当初授業公開共有会、評価方法共有会
- 7月 個人目標共有会、校内危機管理研修(熱中症予防対策)

タブレット研修Ⅰでは、昨年度活用される機会が少なかった Google スライドについて、情報教育主任による活用の仕方・実践例の紹介を行いました。

タブレット研修Ⅰ後に、Google スライドの活用の可能性について話し合い、様々なアイデアを出し合いました。例：生活記録に活用する。校外学習のまとめの新聞づくり。…等



年度当初公開授業における教科の「見方・考え方」を働かせる手立てについて話し合ったことを、Jamboard による共有を行い、自身の教科指導に活かすことにつなげる共有会を実施しました。



年度当初授業公開では、職員全体で2年美術の授業(単元「座ることから考える」)を参観し、共有会を行いました。



2 学期以降

教科の「見方・考え方」に着目した全職員による授業公開・参観、共有会を通し、研修を深めていきます！